

構内操縦担当に

何も落ち度はないことを確認！

手歯止め割損で業務委員会開催！

4月12日に発生した手歯止め割損事故について、新幹線地本は、昨日業務委員会を行い、その中で構内操縦担当に何も落ち度はないことをはっきりと確認しました。構内操縦者は今後も自信を持って仕事ができます。

翌日の検修日報に記載された内容について会社は、「単に発生した事実関係を記したものであり、責任の所在を述べたものではない」と回答しました。また、対策については、「関係する社員には必要な注意喚起を行っている」とし、関係者とは検修当直のことで、異状時の対応では「1号車に必ず行って手歯止め等を確認することを徹底する」ということです。

しかし、今回の事象について、「他山の石」や掲示による周知もなく、日頃「安全」に関する事には迅速な会社らしからぬ対応に多くの社員が首をかしげています。

何も対応しないJR東海ユニオン役員！

手歯止め割損事故という状況に対し、JR東海ユニオン役員は何をしたのでしょうか？会社に対し組合員の気持ちになり何か言ったのでしょうか？休日に呼び出され事情聴取されているのに「おかしい」という声を出したのでしょうか？何かしたということは全く聞こえてきません。これで「労働組合」といえるのでしょうか？このような何も反応しないJR東海ユニオン役員に対し、多くの組合員が首をかしげています。

私たちJR東海労は、現場で働く社員の気持ちに立ち、労働者を守るためにしっかり会社にもものを言っていきます。

明るく働きやすい職場環境をつくるため、

JR東海労と共に奮闘しましょう！